

豊田市立大林小学校で防災講座を行いました

6月16日（月）、豊田市立大林小学校で5年生80名に防災講座を行いました。

講座では、豊田市でも被害のあった伊勢湾台風や昭和47年7月豪雨、東海豪雨など過去の水害について学習しました。建設中の豊田スタジアムも東海豪雨で浸水しています。

今年はその東海豪雨から25年の節目にあたります。ほとんどの児童が東海豪雨を知っており、ハザードマップも多くの児童が「知っている」と回答しました。

なお、5年生は一人ずつ異なるテーマで、防災について調べ学習をしているそうです。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

